

(別添)

次期森林計画についての森林管理署の検討方向

— 目 次 —

1. 現行計画の概要
 - (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項
 - (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項
 - (3) 林産物の供給に関する事項
 - (4) 国有林野の活用に関する事項
 - (5) 国民の参加による森林の整備に関する事項
2. 次期計画の検討方向
 - (1) 管理経営上の課題
 - (2) 計画内容

福岡森林管理署

1. 現行計画の概要(平成31年4月1日～36年3月31日)

<記載例>

・福岡森林計画の対象は、県北西部に位置する背振山地区、三郡山地区及び玄界灘沿いに点在する海岸林から形成される国有林野7,779haです。

・計画区内の全森林面積の16%にあたり、天然林が53%、人工林が44%を占めています。

・水源かん養保安林が全体の88%に達し、福岡市等の水がめとして重要な役割を担っているほか、登山などの森林レクリエーションや保健休養の場として多くの人に利用されています。

・カシ類、シイ類等の天然広葉樹林、スギ人工林、クロマツを主体とする防風林等からなっています。



(1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

① 機能類型に応じた管理経営

国有林野の管理経営に関する基本計画に即して、開かれた「国民の森林」に向けた取組を推進するため、個々の国有林野を重点的に発揮すべき機能に応じて、5つの機能類型に区分し、それぞれの発揮すべき機能に応じて管理経営を行っています。

機能類型区分(面積)	機能類型区分の考え方	目指すべき森林の姿
山地災害防止タイプ (2, 638ha)	山地災害の防止及び土壌保全機能の発揮を重視	根や表土の保全、下層植生の発達した森林
自然維持タイプ (1, 006ha)	原生的な森林生態系や希少な生物の成育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を重視	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の育成・成育に適した森林
森林空間利用タイプ (348ha)	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を重視	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林
快適環境形成タイプ (905ha)	快適な環境の形成の機能を発揮を重視	騒音の低減や大気の浄化など、人の居住環境を良好な状態に保全する役割を持つ森林
水源涵養タイプ (2, 872ha)	水源の涵養の機能の発揮を重視第一とすべき森林	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導を図る森林であり、森林資源の有効利用にも配慮

② 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献

県・市町村等との密接な連携を図るとともに、組織力・技術・資源を活用し、民有林経営の支援等に積極的に取り組みます。

市町村森林整備計画樹立に対して、検討部会の開催(ケーススタディ地区の設定)等を通じた支援を実施しています。



「福岡市農林業総合計画」策定や「糸島市森林・林業マスタープラン」策定等の各検討会の委員として国有林からも出席し、市町村森林整備計画樹立に対する支援に取り組んでいます。

近年のシカによる森林被害の対策に向けた関係市町村と連携した取り組みを推進しています。

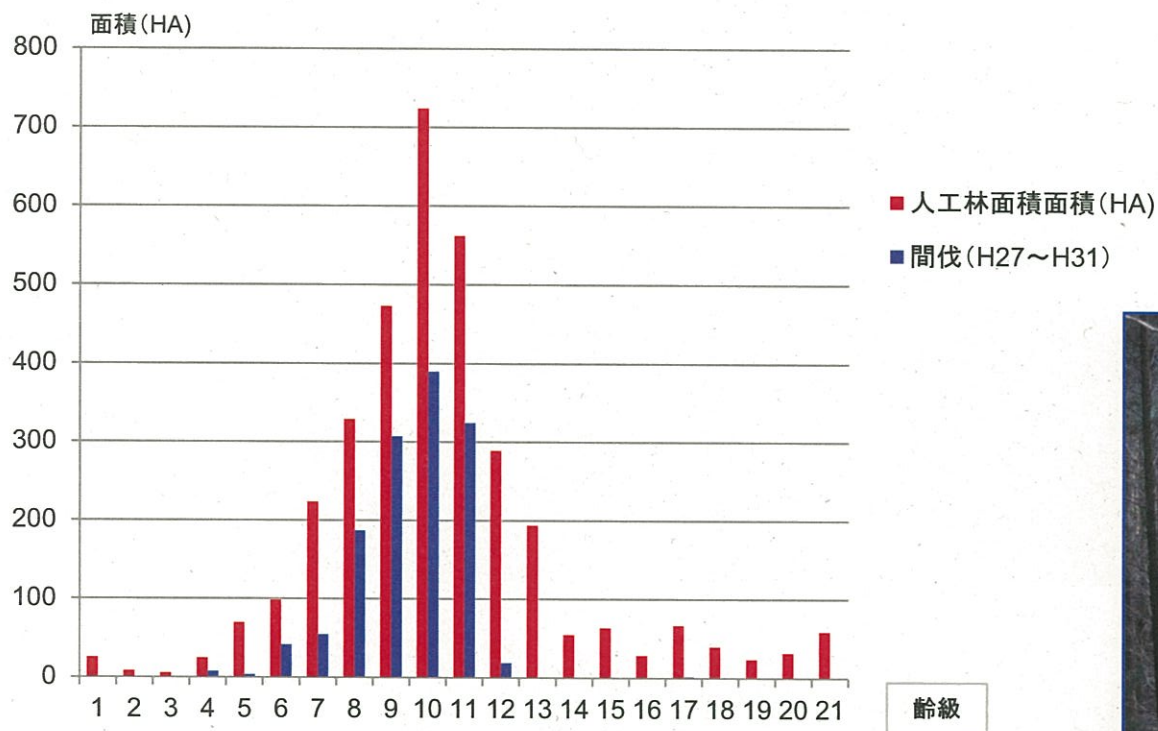


「福岡地区シカ森林被害対策連絡会議」等を通じたシカ被害の情報提供や誘引捕獲事業等により捕獲技術向上に向けた関係市町村との連携の取組を進めています。

③ 地球温暖化防止に向けた積極的な間伐等の推進

本計画区の人造林の面積は約3,400haで、16年生から60年生の人造林の面積は約2,795ha（人造林面積の82%）です。

また、現行計画（H27年度～31年度）では間伐を約1,338ha計画しており、森林吸収源対策のためにも間伐を推進しています。



列状間伐を導入した人工林

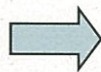
注：1年齢級は1～5年生を表します。

④ 多様で健全な森林の整備・保全

間伐をはじめとした森林整備に積極的かつ着実に取り組むとともに、針広混交林化、複層林化、長伐期化などを通じて、多様で健全な森林の整備・保全を推進します。



現状(人工林)



針広混交林

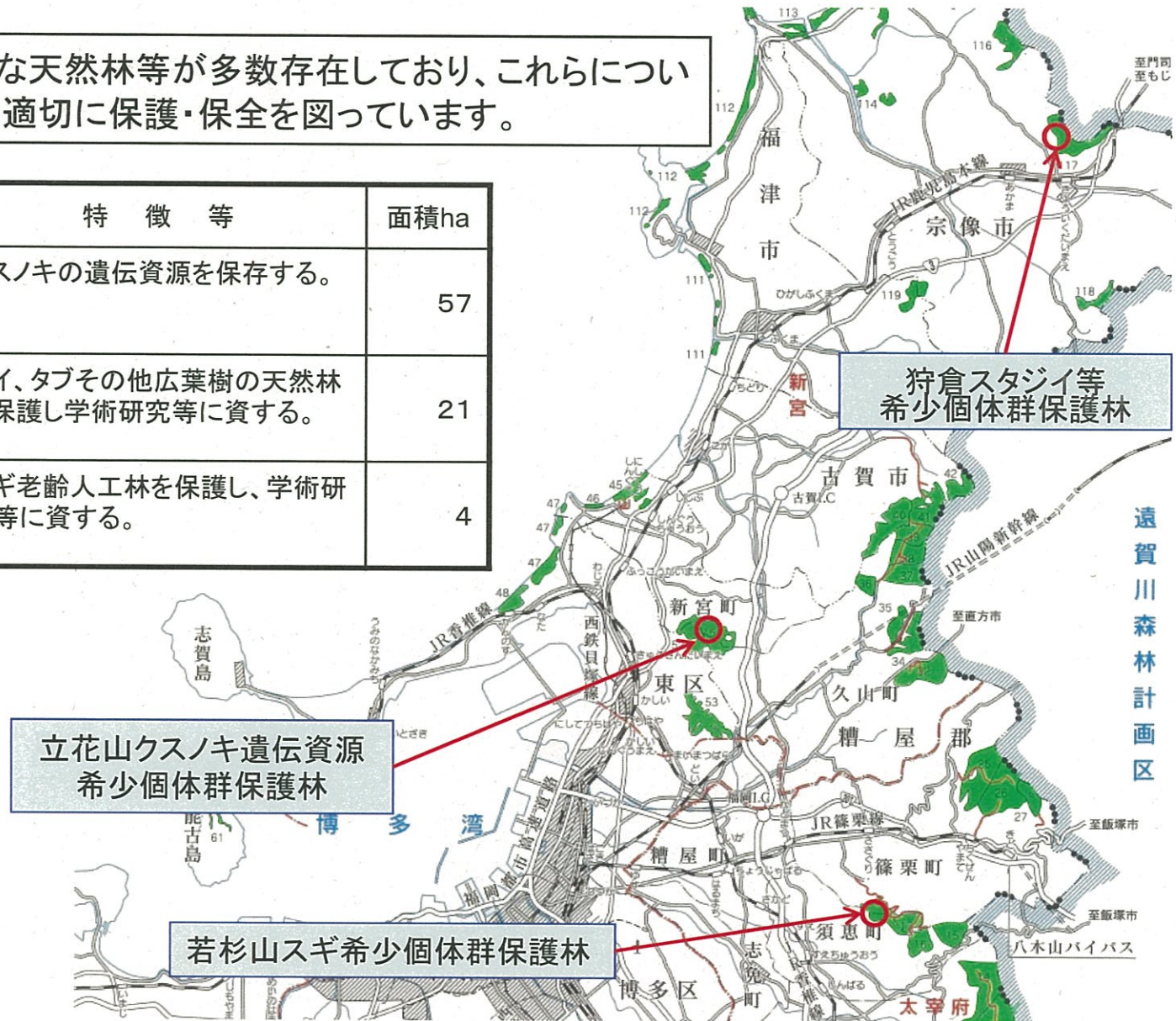


長伐期化された森林

(2) 国有林野の維持及び保存に関する事項
 ① 生物多様性の保全(保護林)

本計画区には貴重な天然林等が多数存在しており、これらについては保護林を設定し、適切に保護・保全を図っています。

名称	特徴等	面積ha
立花山クスノキ遺伝資源希少個体群保護林	クスノキの遺伝資源を保存する。	57
狩倉スタジイ等希少個体群保護林	シイ、タブその他広葉樹の天然林を保護し学術研究等に資する。	21
若杉山スギ希少個体群保護林	スギ老齢人工林を保護し、学術研究等に資する。	4



② 国民生活の安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山事業の展開

安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山対策に取り組んでいます。



福岡県宇美町をはじめとする流域内で発生した山地災害箇所等について、谷止工等による早期復旧工事を実施しています。



海岸松林の再生に向けて、海岸砂地に風害防止のため、木製による防風柵を設置し植栽木の生育を促進して、成林しやすい環境に改善しています。

(3) 林産物の供給に関する事項

① 高効率・低コストな作業システムの定着

伐採、造林等の事業の実施の効率化を図りつつ、健全な森林を整備するとともに、木材の需要動向や木材産業の状況等を的確に把握しつつ、国有林材の安定的な供給を推進しています。



集成材工場や合板工場、製材工場等の原材料となる木材を安定的に供給する「システム販売」を推進しています。



再造林コストの低減を図るため、伐採から植栽までを一体的に実施した「一貫作業システム」を推進しています。

(4) 国有林野の活用に関する事項

① レクリエーションの森の保健・文化的利用の推進

優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林をレクリエーションの森として設定し、地域の方々に提供しています。

種類	名称	概要	面積 (ha)
風景林	立花山	玄界国定公園内にあって近接林分にはクスの原生林があることや遠望にも優れていることなどから、ハイキングやピクニック等の好適地となっています。	54
風致探勝林	若杉山	近接する若杉山保護林と一帯となって老齢のスギ林分が優れた景観を呈しており、隣接民有地にある札所への参詣者や登山者、ハイカー等に親しまれています。	32
	玄海	玄界灘に面した海岸松林が優れた景観を呈しており、風致観賞や海水浴客等の憩いの場として親しまれています。	132
	油山	福岡市の中心部に近く地理的に恵まれており、天然林を主とした林分が隣接する市民の森を一体化した風致景観を呈し、市民の憩いの場として親しまれています。	13

油山風致探勝林

玄海風致探勝林

立花山風景林

若杉山風致探勝林



遠賀川森林計画区

(5) 国民の参加による森林の整備に関する事項

① 国民参加の森林づくりと森林環境教育の推進

国有林野をフィールドとした国民参加の森林づくりを推進しています。

地元ボランティアの方々と協力して海岸林の保全を図っています。



地元ボランティア団体にフィールドを提供し、協働して、海岸林のマツクイムシ被害地の植樹・保育を行い白砂青松の復元に取り組んでいます。

国民や企業の自主的な参加による森林の整備を推進します。

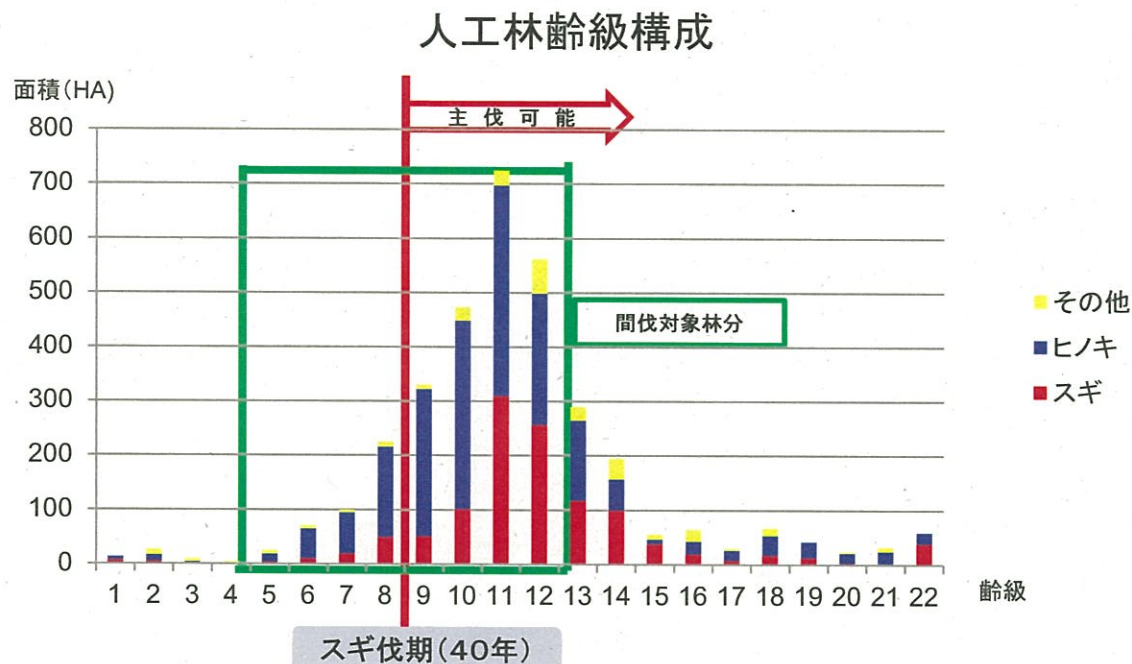


「遊々の森」により、継続的な林業体験活動の場を提供し森林環境教育の推進に努めるとともに、「法人の森」により、森林づくりに参加・協力したいという企業の要請に応えています。

2 次期計画の検討方向

(1) 管理経営上の課題

- ・本計画区の国有林野が有する水源かん養機能や保健文化機能等の公益的機能の発揮を高めていく必要があります。
- ・次期計画においても間伐対象となる16年生から60年生の人工林の割合は74%と現行計画と同程度であり、健全な森林づくりのほか森林吸収源対策の上からも引き続き間伐を推進する必要があります。
- ・将来的に均衡がとれた齢級構成に移行させることに配慮しつつ、主伐とその後の再造林を計画的に推進し、森林資源の循環利用を行うことにより、森林の有する多面的機能の持続的な発揮を図るとともに、森林吸収源対策にも貢献する必要があります。



- ・近年特に森林生態計に影響を及ぼしているシカ対策や病虫害対策にも民有林と連携しつつ、効果的で素早い対応に努めていく必要があります。
- ・また、森林病虫害等に強い多様な森林の造成を立地条件に応じ推進していく必要があります。
- ・本計画区には各種保護林やレクリエーションの森を設定しており、これらの国有林野を適切に管理していく必要があります。
- ・国民参加による森林づくりに関する問い合わせや相談が増加していることから、これらの要請に適切に応えていく必要があります。
- ・国産材の安定供給を実現するため、生産システムのコスト縮減と生産性向上を進める必要があります。
- ・再造林コスト軽減のため、伐採から植栽まで一体的に行う一貫作業システムを進める必要があります。
- ・エネルギー原料としての利用等新たなニーズに応えるため、これまで利用してこなかった林地残材等の利用を進めていく必要があります。
- ・国民が安全・安心に暮らせる環境づくりに向けて、治山対策に取り組む必要があります。

(2) 計画内容

- ・公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を行うとの方針の下、多様で健全な森林の整備・保全を行うほか、森林吸収源対策として引き続き間伐を推進するとともに、将来的に均衡がとれた齢級構成に移行させることに配慮しつつ、主伐とその後の再造林を計画的に推進する方向です。
- ・海岸保安林の保全機能を維持することとし、松くい虫などにより保全機能の低下した松林においては広葉樹への樹種転換など多様な森林の造成を推進する方向です。
- ・貴重な植物種の保護を目的とする保護林及び自然の観察や森林浴などの利用を目的とするレクリエーションの森については、現状を維持する方向です。
- ・社会貢献活動として森林づくりに参加・協力したいとする企業等の要請に応えるため、「分収林」制度を活用して、森林整備を推進する方向です。
- ・生産システムのコスト縮減と生産性の向上を図るため、簡易で壊れにくい路網の整備を引き続き推進する方向です。
- ・これまで利用されてこなかった林地残材等の有効利用を図るため、これらを含む国産材のシステム販売に努める方向です。
- ・再造林コスト軽減のため、伐採から植栽まで一体的に行う一貫作業システムを推進する方向です。
- ・民有林と連携して効果的な治山事業の実施に取り組むとともに、地域住民と協働して災害を減らす対策を進める方向です。